



岡山県

塚本 雅久

塚本雅久建築設計事務所

【作品名】K HOUSE

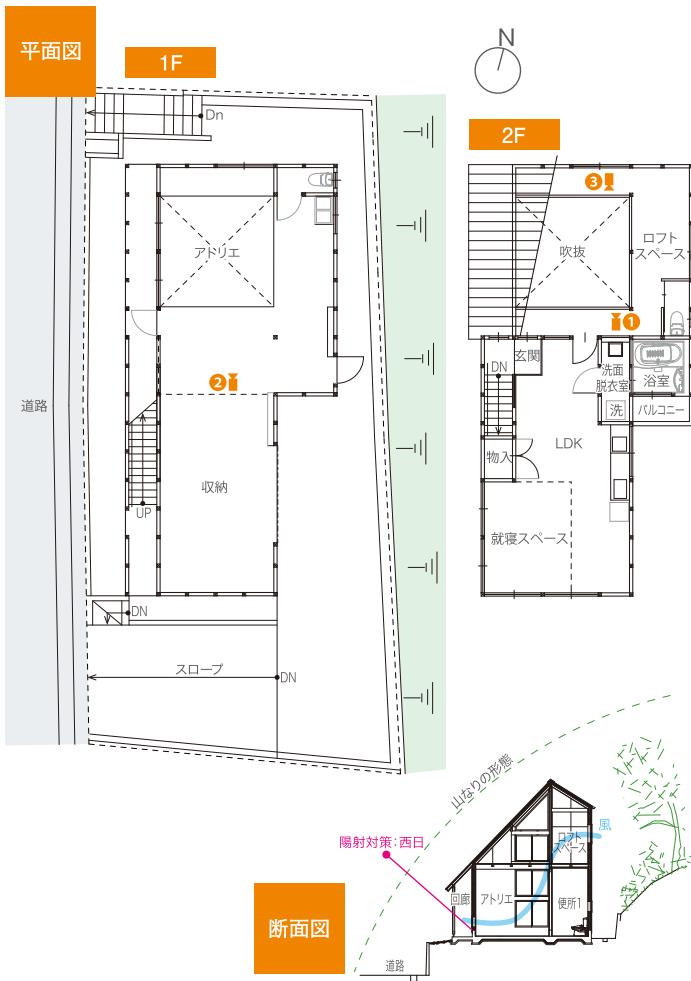
設 計 塚本雅久建築設計事務所
施 工 株式会社 松建グループ
竣 工 日 2019年12月5日

◎建物概要

建設地	岡山県笠岡市	延床面積	129.58m ²
敷地面積	200.61m ²	構造・規模	木造2階建

◎設備面の特記

厨 房 機 器	IHクッキングヒーター
給 湯 機 器	エコキュート

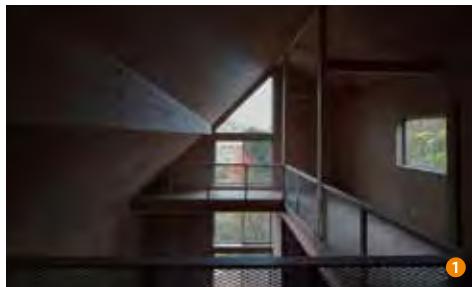


設計コンセプト

敷地は約50年前に切り開いた宅地。以前、周辺は山なりの形状で、その片鱗をうかがわせる形状が残っており、近隣との環境をつくる上で以前の形状を尊重し山なりになる形態を計画した。西道路から東側の樹木のレベルを検討し、形態を決定している。

西側に7m弱の前面道路、東側には山形状に見えるが以前は果樹園だったなだらかな丘が広がる。北から南に道路のレベルは

上がっていくので、北側は軒を低く、南側は2階建てとした。施主は、芸術を生業とする夫婦。創作と生活の境界はなく新たな生活の場はイコール新たな創作の場である。よって全ての空間が関係性を持つワンボックス的な計画とした。西道路側から回廊を介し、地窓から山へ風が通るようにし、良好な風が通る空間と



①アトリエとつながるロフトスペース。吹き抜けがあり、上部から大きな作品を確認できる

②南からアトリエを見る。地
窓は、北側の安定的な光だ
けが必要なため通常は閉じ
ている。通風のために、合板
の扉を上げることもできる。



③北からロフトスペースを見る。アトリエと繋がり、LDK、洗面脱衣室とも視覚的に繋がる。

審查委員講評

なった。1階はアトリエと付随する収納、2階のロフトスペースはアトリエと繋がる吹抜けがあり上部から大きな作品を確認する事ができる。ロフトスペースとLDKはガラスで仕切り、2階全体で南北の広がりを持たせており、施主の活動が一体となり空間構成となる住宅となっている。創作活動と生活が同一のため、日々の継続する室内環境は、西日の強い光を避け、北側の安定した太陽光を中心とした計画としており、回廊は夏の1階西側の壁に直射日光を防ぐものとし、道路とのレベル差を緩衝するため設けた。通風の計画とあいまって、安定した室内環境となっている。